

KADOKAWA 2021年3月期 通期決算を公表

売上高2,099億47百万円、営業利益136億25百万円、 ともに過去最高を達成

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松原眞樹、東証一部：9468）は、2021年4月30日（金）、2021年3月期 通期連結期間（2020年4月～2021年3月）の業績を公表いたしました。

■2021年3月期 通期決算のハイライト

- ・2021年3月期 通期連結実績は、売上高2,099億47百万円、営業利益136億25百万円で、ともに過去最高を達成。
- ・書籍、アニメ、ゲームの事業が大幅に成長し、前年比で売上高2.6%増、営業利益は68.5%増と大きく伸長。
- ・2022年3月期 通期業績見通しは、新型コロナウイルス感染症の市場環境への影響を踏まえレンジ形式で開示。営業利益は140億円を目指す。新型コロナの深刻化の可能性もあり100億円の下限値も想定。
- ・2023年3月期の経営目標達成のため、新規IP点数の拡大やDXの加速、電子書籍のグローバル展開など6つの重点施策を実施。

（単位：百万円）

	2020年 3月期通期実績	2021年 3月期通期実績	前年比 (増減額)	2020年 1-3月実績	2021年 1-3月実績	前年同期比 (増減額)
売上高	204,653	209,947	+2.6% (+5,294)	54,475	57,169	+4.9% (+2,694)
営業利益	8,087	13,625	+68.5% (+5,537)	▲373	421	- (+794)
経常利益	8,787	14,369	+63.5% (+5,581)	▲403	921	- (+1,325)
親会社株主に帰属 する当期純利益	8,098	9,584	+18.4% (+1,486)	215	597	+177.2% (+382)
EBITDA	12,948	18,154	+40.2% (+5,206)	1,139	1,735	+52.3% (+596)

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

① 2021年3月期 通期連結実績は、売上高2,099億47百万円、営業利益136億25百万円で、ともに過去最高を達成。書籍、アニメ、ゲームの事業が大幅に成長し、前年比で売上高2.6%増、営業利益は68.5%増と大きく伸長

2021年3月期 通期連結実績は、売上高2,099億47百万円（前年比2.6%増）、営業利益136億25百万円（同68.5%増）、経常利益143億69百万円（同63.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益95億84百万円（同18.4%増）となり、売上高、営業利益は過去最高となりました。

【出版セグメント】 書籍市場全体での需要の高まりに加え、従来から進めてきた業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）が功を奏し、コロナ禍においても新刊点数は前期並み水準を維持、返品率も大幅に良化し収益に貢献しました。また『ダンジョン飯 9巻』『あやかし草紙 三島屋変調百物語伍之続』『青くて痛くて脆い』『あつまれ どうぶつの森 ザ・コンプリートガイド』『世界一美味しい手抜きごはん 最速！ やる気のいらぬ100レシピ』などの販売が好調に推移しました。電子書籍・電子雑誌は、市場全体の伸張と当社グループ直営総合電子書籍ストア「BOOK☆WALKER」の新規ユーザー増加など積極的なマーケティング施策により好調を維持、四半期ベースで過去最高の売上高を更新しました。出版セグメント 売上高1,295億76百万円（前年比10.5%増）、セグメント利益（営業利益）128億41百万円（同105.5%増）。

【映像セグメント】 実写映画において映画配給やスタジオ事業などへの影響が見られたものの、強力なコンテンツとスピーディーな配信展開により、コロナ禍の中、営業利益は前年比増加。特にアニメ事業は好調に推移し、「Re：ゼロから始める異世界生活」「ひぐらしのなく頃に業」「デカダンス」「くまクマ熊ベアー」などの海外権利許諾収入に加え、「ソードアート・オンライン アリシゼーション War of Underworld」「この素晴らしい世界に祝福を！ファンタスティックデイズ」など、他社ゲームへの当社アニメIP活用などによる国内権利許諾収入が収益に貢献しました。映像セグメント 売上高313億14百万円（前年比8.2%減）、セグメント利益（営業利益）22億74百万円（同7.1%増）。

【ゲームセグメント】 「ポケモン不思議のダンジョン 救助隊DX」「SEKIRO: SHADOWS DIE TWICE」「DARK SOULS」シリーズなどのリピート販売と海外権利許諾収入に加え、共同・受託開発事業も収益に貢献、売上高、営業利益ともに前年比増となりました。ゲームセグメント 売上高166億36百万円（前年比16.9%増）、セグメント利益（営業利益）27億44百万円（同114.6%増）。

【Webサービスセグメント】 収益の多様化、「ニコニコチャンネル」有料会員増加などにより前年並みの売上を維持。オンラインで開催したイベント「ニコニコネット超会議2020」「ニコニコネット超会議2020夏」「Animelo Summer Night in Billboard Live」などが好評を博しました。Webサービスセグメント 売上高220億8百万円（前年比11.0%減）、セグメント利益（営業利益）20億96百万円（同24.8%減）。

【その他セグメント】 教育事業においてインターネット上の通信制高校「N高等学校」で生徒数が順調に増加、株式会社ドワンゴによる同校などへの教育コンテンツ提供が収益に貢献しました。埼玉県所沢市に2020年11月6日グランドオープンした「ところざわサクラタウン」が売上に寄与しましたが、コロナ禍によるMD事業売上減などの影響も見られました。その他セグメント 売上高174億63百万円（前年比10.4%減）、セグメント損失（営業損失）44億91百万円（前年 営業損失25億83百万円）。

時間や場所にとらわれず自律的に行動する働き方＝ABW（Activity Based Working）の考えを導入した働き方改革も含め、当社がコロナ禍以前より取り組む、最先端のICTツールの導入や大規模インフラの構築・運用などのDX推進が、業務の効率化とスピード増、IPを安定的に創出する体制を支え、当期実績へ大きく寄与しました。

② 2022年3月期 通期業績見通しは、新型コロナウイルス感染症の市場環境への影響を踏まえレンジ形式で開示。営業利益は140億円を目指す。新型コロナの深刻化の可能性もあり100億円の下限値も想定

	2021年 3月期通期実績	2022年 3月期通期見通し	前年比 (増減額)	前年比 (率)
売上高	209,947	218,000～ 228,000	+8,052～ +18,052	+3.8%～ +8.6%
営業利益	13,625	10,000～ 14,000	▲3,625～ +374	▲26.6%～ +2.8%
経常利益	14,369	10,500～ 14,500	▲3,869～ +130	▲26.9%～ +0.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,584	6,900～ 9,600	▲2,684～ +15	▲28.0%～ +0.2%
EBITDA	18,154	15,300～ 19,300	▲2,854～ +1,145	▲15.7%～ +6.3%

③ 2023年3月期の経営目標達成のため、新規IP点数の拡大やDXの加速、電子書籍のグローバル展開など6つの重点施策を実施

・重点施策①：新規IP点数の拡大

編集人材とデジタルマーケティングに投資し、新規IPを市場に積極投入いたします。

年間出版点数を5,000点から6,000点へ増大、Webでの新人発掘強化、新漫画誌「青騎士」など新しいコミックレーベル創刊、縦スクロール漫画の開発、動画配信を利用した作品開発など

・重点施策②：DXの加速

書店受発注の電子化と需要に即応した出荷の推進、SNSデータを活用した作品開発でのヒット率向上など「攻めのDX」と、リモートワーク率の向上や当社グループへのSlack導入など「守りのDX」を行います。

・重点施策③：電子書籍のグローバル展開

縦スクロール漫画の制作・多言語化、AIによる漫画翻訳など世界的な成長市場であるWeb漫画への投資を行います。また、4月28日に発表した、ライトノベルのサブスクリプションサービスを展開する北米出版社「J-Novel Club LLC」の買収などにより、ライトノベルをはじめテキストコンテンツの世界展開を加速いたします。

・重点施策④：アニメ事業の強化

新作アニメを年間40本制作できる体制づくりとライセンス収益の拡大、ゲーム化やゲームコラボなどアニメIPのゲームロイヤリティ収益の増加を目指します。また、資本提携を行った当社の新パートナー、サイバーエージェント、ソニーグループとの取り組みも強化いたします。

・重点施策⑤：ゲーム事業の大型タイトル投入

フロム・ソフトウェア史上最大規模となるアクションRPG「ELDEN RING」を開発中です。

・重点施策⑥：教育事業—EdTechのリーディングカンパニーを目指す—

生徒数が順調に増加しているN高・S高（両校合計2021年5月1日見込生徒数18,731人）、クリエイティブ分野における即戦力人材育成に特化した教育を展開するバンタンなど、当社グループが関わるEdTechを加速させ、教育事業の拡大を目指します。

ほかにも、コンテンツのサステナビリティの実現を目指すSDGsへの取り組みも積極的に行ってまいります。

※詳細は、当社コーポレートサイト「IR・投資家情報」ページ (<https://ir.kadokawa.co.jp/ir/>) 上の2021年3月期 通期 決算短信、決算説明資料、ファクトシートをご覧ください。

■株式会社KADOKAWAについて

出版、映像、ゲーム、Webサービス、教育、MD、コトビジネス、インバウンド関連などの幅広い事業を展開する総合エンターテインメント企業です。働き方改革（ABW=Activity Based Working）を含めたデジタルトランスフォーメーションの推進により、優れたIP（Intellectual Property）を安定的に創出し、様々な形で世界に届ける「グローバル・メディアミックス」戦略を実践しております。

KADOKAWAグループ ポータルサイト：<https://group.kadokawa.co.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問合せ先】

株式会社KADOKAWA 広報部 E-mail：pr-dept@kadokawa.jp
KADOKAWAコーポレートサイト：<https://ir.kadokawa.co.jp/contactus/>